

市民講座“原発に依存しない社会の形成”シリーズ

3.11東日本大震災を契機として福島第一原子力発電所の事故は、その収束の見通しもはっきりしないまま、その被害は広い範囲の国民生活に現れつつあります。その一つに、放射線が人体に与える影響があります。特に、幼い子供を持つ家庭では、その心配が高まっています。

今回の市民講座では、放射線従事者の放射線防護に関する研修内容をもとに、一般の市民にとっても分かりやすく放射線の人体への影響について学びます。

放射線の人体への影響を考える

講師：浅沼 武敏 氏（宮崎大学農学部獣医学科 教授）

浅沼先生のご専門は、MRIによる画像診断ですが、大学では基礎放射線学、放射線防護、放射線治療等の授業を担当されています。その一方で、第一種放射線取扱主任者の資格を持たれ、宮崎大学では放射線取扱主任者を務められています。

日時：2011年9月03日(土) 18:00 開場

18:30~20:30 (講演1時間, 質疑・意見交換1時間)

場所：宮崎市中央公民館大研修室 (3階)

資料代 300円

主催：日本科学者会議宮崎支部(JSA)

宮崎県民主医療機関連合会(宮崎民医連)

連絡先：科学者会議事務局(0985-58-7242, 木下) jsa-miyazaki@mjsa.saloon.jp

宮崎民医連事務局(0985-23-7168, 長住) mcoop1010@wit.ocn.ne.jp

